

夏号(No.86)

R4年8月15日

社会福祉法人 聖オディリアホーム乳児院  
〒165-0031 東京都中野区上鷲宮 5-28-28  
TEL (03)5971-8071 FAX (03)5971-8073  
Eメール [odilia@guitar.ocn.ne.jp](mailto:odilia@guitar.ocn.ne.jp)  
ホームページ <http://odilia.jp>

# オディリア通信

# あいあい

基本理念 「愛をもって、愛を育てる」

朝顔やひまわりなど夏の花がたくさん咲いています。少し遅めに感じたセミの声も聞こえ始めました。

乳児院でも、夏の花だけでなくピーマンやきゅうり、ナスなど夏野菜を育てています。

衛生的で栄養バランスのとれた食事は、毎日調理室で調理されています。子ども達には、調理済みの食材だけでなく、カットされる前の野菜を知ってほしい、触れる機会を持ってほしい、そこから食べることに関心が広がってほしいという思いがあります。そこで数年前から、院内にその日の調理予定の野菜を置く場所を設けています。院庭の野菜もそうだった思いから、育てています。

先日、2歳の女兒が玄関前のプランターのきゅうりに気がつき「きゅうり、あった！」と教えてくれました。食べごろだったので保育者と一緒に収穫しました。収穫したきゅうりを触ってみたり、食べる真似をして笑っていました。

新型コロナウイルスの感染防止対策は続きますが、そんな中でも、また一つ子ども達の世界が広がったのではないかと思います。

(施設長 鎌倉 道子)

	月	月	月
身長	cm	cm	cm
体重	g	g	g



## 年長児保育（ひまわり）

梅雨が明け、夏本番。連日の猛暑の中、日差しが少なかった日を狙い、砂場で泥んこ遊びをしました。

大きな山を作り、トンネルを掘って、穴を掘って、たらいに汲んだ水を一気に流し流しいます。「わあ〜。」という歓声と同時にみんな泥の水たまりの中に足を入れて気持ち良さそうです。

その後は自分たちでもペットボトルに水を入れてトンネルに水を流し流したり、穴に水を溜めたり、各々で楽しみました。6月には近隣の畑にじゃが芋掘りにもいきました。年長児保育では、色探しゲームやカード取りなど、簡単なルールのある遊びをしたり製作をしたり、大きい子どもたちならではの遊びを取り入れて楽しんでいきたいと思っています。

(保育士 藤川)



## たなばた

七月に入ると、廊下に飾られた笹を見ながら、「これなあに?」と興味津々な子どもたちに「七夕飾りだよ」と話す保育者の姿がよく見られるようになりました。子どもから大人まで、短冊に願いことを書いてたどって、ワクワクしながら待っていた七夕です。

七夕当日、子どもたちは甚平に着替えて、七夕飾りの前で写真撮影。飾りが気になっても、なかなか正面から撮れない児もいましたが、みんな笑顔で楽しそうな写真が撮れました。七夕の日はヨーヨーすくもを行います。自分の好きな色のヨーヨーや、大きなサイズのヨーヨーなど、それぞれ好きなものを選んですくっていました。昼食はバイキング! お皿を持って、食べたい物を選んでよそいます。おかわりの時に、自分で取りに行く児もいました。好きな物をお腹いっぱい食べて大満足です。思い出に残る楽しい一日になりました。

(保育士 堀内)



## 水遊び



気温が三〇度を超え散歩や院庭遊びが困難な状況になってきたら夏本番、子どもたちの大好きな水遊びの季節です。水をはったたらいに水を入れてその冷たさに触れると、初めての感触に夢中になって遊び出します。たらいの水だけでは飽き足らなくなってくるのにプールプールの登場。子どもたちは水着に着替えてドキドキワクワク。高月齢の女の子たちは自分で好きな水着を選んで着替えると「みてー。かわいい!」と保育者とやり取りしおしゃべりも楽しみます。プールに入って玩具を浮かべたり、プールの水をすくって遊んだりと楽しみ方は様々。水鉄砲やシャワーを保育者とかかけ合いキャラクターとはしゃべくのはやはり高月齢児。低月齢児もうつ伏せ姿勢でウォーターシートの感触を楽しんだり、ショウロから流れる水を触ったり。院庭に出れるつかの間の時間を笑顔いっぱい、夏ならではの遊びで満喫します。

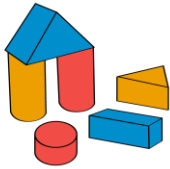
(看護師 佐藤)



## 作業療法士から

子どもの身体はへりこへり

わたしたちがコロナウィルス感染症のことを考えながら生活するようになってから二年数カ月が経過しました。いまの子どもたちは生まれてからずっとマスク生活や外出制限の生活しか知らないことになりました。そのなかで子どもたちの心と身体を健全に育てていくためにやってみたいことをお知らせします。



文部科学省は2012年に『幼児運動指針』を出し

ており、そのときの子どもたちの身体活動や運動について4つの問題点があげられています。

- ・活発にからだを動かすあそびが減っている
- ・からだの操作が未熟な幼児が増えている
- ・自発的な運動の機会が減っている
- ・からだを動かす機会が少なくなっている

十年前、すでに子どもたちの体力低下が心配されていたのにこの数年の生活状況で子どもたちの運動不足がさらに加速しています。

乳幼児期に遊びを中心とする身体活動を十分におこなうことは、多様な動きを身につけるだけでなく、心肺機能を丈夫にし、骨の形成にもかかわるなど生涯にわたって健康に過ごせたり、物事に積極的に取り組む意欲をはぐくんたりするなど、豊かな人生を送るための基盤となります。

そのため経験してほしい動きとして推奨されていることは難しいことではありません。



○からだのバランスをとる動き

立つ、座る、起きる

回る、転がる、ひらひら下がる

○からだを移動する動き

歩く、走る、跳ぶ

のぼる、おろる、這う

すべる、またぐ、くぐる

○用具などを操作する動き

持つ、運ぶ、転がす

投げる、捕る、ける

積む、くべ、押す、引く



これらの動きは子どもたちが歩けるようになる前からできる動きもたくさん含まれています。外出できなくても毎日の生活のなかで大人の身体も使って一緒に遊べば自然とできる動きばかりです。

子どもたちが健康で丈夫に育っていくように毎日の生活のなかで、できるときにできる動きを探り入れてみてください。

(作業療法士 萩之凶)

## ナースの一言アドバイス

### おしっこの話

暑い夏の季節、汗をたくさんかくこの時期は赤ちゃんや子どもたちに水分がちゃんと足りているか心配になるもの。そんな時はおしっこが体内水分のバロメーターになってくれます。

#### ○尿がたくさん出ている時

水分をたくさん飲んだ時や、朝や長いお昼寝から起きた時などはおしっこの量が多くなります。赤ちゃんの場合病気の心配は少ないです。汗もたくさんかいていますし濡れたオムツは汗疹やかぶれの原因になります。適度に交換してあげましょう。



#### ○尿が少ない時

汗をたくさんかくとおしっこの量が少なくなります。半日以上オムツがぬれていない時は脱水症状のおそれがありますので受診しましょう。

#### ○尿が薄赤色・オレンジ色の時

暑い季節などにおしっこに含まれる尿酸塩という成分が赤やピンクに見える時があります。尿酸塩の場合は問題ありません。血尿との区別は尿酸塩の場合は時間が経っても変色してませんが、血尿の場合は黒っぽくなってきます。また小児科で判断することも出来るので、続くようなら排尿したオムツを持参して受診しましょう。

#### ○尿が濁っている、熱がある時

他に特別な症状が無いのに熱がある場合、膀胱炎や尿路感染症の可能性があります。放っておくと症状が悪化しますので、受診しましょう。特に女児は尿道が短く炎症を起こしやすいので小さい時からおしりを拭く時は前から後ろに拭くように習慣づけましょう。

看護師 佐藤よう子



## 今後の行事

10月 ハロウィン

12月 クリスマス



## お知らせ

聖オディリアホーム乳児院のホームページがあります。  
合わせてご覧下さい。

<http://odilia.jp>

## ☆編集 後記☆

今号の記事にもありましたが、夏の楽しみ水遊び。玩具を使うのも楽しいですが、子どもたちはペットボトルや牛乳パックの空を使うのも大好きです。ペットボトルは底の方にいくつか穴を開けて蓋の開閉で水の出方が変わるのを楽しむのも良いですね。食紅を使って色水を作りおままごとをするのも楽しいです。子どもたちにとって学びとなる遊び。日々工夫と試行錯誤の連続です。

看護師 佐藤